

元気と笑顔のお届け便リメイクプロジェクト（演劇青春塾わにまーる第2章）

シアターワーク豊中そらまめ

コース
初動
事業

申込内容

■事業の概要

演劇を地域に根づかせて、人間関係を豊かにする新しい居場所をつくります。小学生からシニアまで、芝居を楽しくつくりながら、地域の人たちとのふれあいをどんどんつくっていきます。

■目的

演劇による地域市民文化活動をすることで、文化、教育、福祉、環境の魅力ある人づくり、まちづくりを推進すること。

■交付決定額 100,000 円
（事業予算 173,800 円）



◎活動の様子

3月26日（土）午前、桜塚商店街にある「おかまちコミュニティカフェk i t t o」で、シアターワーク豊中そらまめによる演劇ワークショップ「演劇青春塾わにまーる」が開催されました。

初めて助成を受けた昨年度（平成26年度）は、生きづらさを抱える青少年を対象にした演劇ワークショップを実施。今年度は、高齢者福祉施設などにも積極的に出向くなど、対象者を広げながら取組みを発展させています。

代表の務川智正さんは、「月に一度の演劇ワークショップに単発で参加していただいている人はいるものの、参加者が定着しないことが課題です。そのため、フェイスブックの更新を行ったり、チラシをポスティングしたりすることで情報発信を強化しています。また、不定期ですが、今年度から演劇公演『おかまち楽座シアター（大衆歌謡お芝居ショーなど）』をk i t t oで開催しています。そのほかにも、デイサービスや地域イベントに出向いたり、とよなか夢基金助成金交付団体の団樂長屋プロジェクトさんやイキル応援プロジェクトLifePowerさんと連携するなど、今後も多彩な活動を展開していきたいと考えています」と話します。



午後からは、箕輪にあるデイサービスセンターに出向いての演劇公演。施設を利用する高齢者の世代に合った演目や歌謡曲に、会場からは大きな手拍子やかけ声が起るなど、楽しい雰囲気にも包まれたひとときとなりました。

「定期的に呼んでいただける施設もでき、いろいろな人たちとつながりがうまれてきました。今後も地道な活動を続け、元気と笑顔を多くの人に届けながら、私たちの活動をさらに広げたいです」。

◎リンク

▼[シアターワーク豊中そらまめフェイスブックページ](#)へリンク